

現在のところ、一時的な仮生帰化の一員に属するものと考えられる。

終わりに興味ある資料を提供され、検討の機会を与えた田代俊夫、時田房恵、三谷 進、蘇我部友和の各氏を始めとする関係者各位に敬意を表する。

In the present paper, the author reports some alien plants recently naturalized to Japan.

1) *Orychophragmus violaceus* O. E. Schulz var. *lasiocarpus* Migo of Chinese origin was discovered in sunny waste sites of Shioya-cho, Tochigi Pref.,

central Honshu on May 15, 1994.

2) An European Trefoil, *Trifolium resupinatum* L. var. *majus* Boiss. was found in sunny grass fields of Kita-Kyushu, Fukuoka Pref., northern Kyushu on May 12, 1994.

3) *Trifolium fucatum* Lindl. with large yellow flowers, a native of western N. America and *T. tomentosum* L. of Mediterranean countries, were also found in Shikoku as casual aliens.

(本誌 55(5): 157-160 (1980) から続く)

(東京歯科大学)

### ホソバノキミズ琉球に分布（山崎 敬）

Takasi YAMAZAKI: *Elatostema lineolatum* Wight var. *majus* Wedd. is Found in the Ryukyus

小泉源一氏は、1928年に奄美大島からオオキミズ *Elatostema tumidulum* Koidz. と言う新種を発表している。ところがその後この植物が採集されないこともあって、完全に忘れられて、現在までこれに関係する報告は見当たらない。新種とされたのは田代善太郎氏が1924年3月に奄美大島で採集した標本に基づく。正基準標本は京大に、副基準標本は東大にある。しかしこれが唯一の採集ではなく、生熊与一郎氏が1910年9月3日に奄美大島の湯湾岳で採集した標本が京大にある。この標本は新種発表の際には引用されていないが、小泉氏が *E. tumidulum* Koidz. と標本上に記している。したがって現在はどうなっているか解らないが、この種類が奄美大島にあったことは確かである。しかしこれは新種ではなく、台湾、中国中部・南部、インドシナ、ビルマ、ブータンに広く分布する *E. lineolatum* Wight var. *majus* Wedd. と同じものと思う。

奄美大島のものと同じものが沖縄本島にも見られる。1887年3月に田代安定氏が今帰仁間切、ラッパ山で採集した標本が2枚東大にある。筆跡からすると伊藤篤太郎氏ではないかと思うが、*E. lineolatum* Wight var. *major* Thw. と記して、正しく同定されている。しかし伊藤・松村氏の論文 *Tentamen Florae Lutchuensis* は、1899年に離弁類の一部が発表されただけで、後が続かなかったので、イラクサ科は発表されないでしまった。松村

任三氏の日本植物名鑑(1912)にはこの学名の植物が収録されているが、分布は台湾だけしか記されていない。琉球の標本も見ているはずなのに引用していない。琉球植物の論文の発表が途中で途切れたのと関係しているのであろう。採集されてから100年以上経つのに、その後採集された話を聞かないので、琉球の植物目録にも載らないでいるが、奄美大島同様かっては沖縄にも存在していたし、捜せば見つかるかもしれない。琉球の目録に入れておくべきものである。図は中国植物図鑑1:t. 1030 (1972) や Flora of Taiwan 2:t. 258, (1976) に載せられている。

*Elatostema lineolatum* Wight var. *majus* Wedd., Monogr. Urutic.: 312 (1856); in DC., Prodr. 16 (1): 182 (1869), ut  $\beta$ .

*Elatostema lineolatum* Wight var. *major* Thw., Enum. Pl. Zeyl.: 260 (1864).

*Elatostema tumidulum* Koidz., Pl. Nov. Amami-ohshima: 11 (1928); in Act. Phytotax. Geobot. 1: 170 (1932), syn. nov.

Hab. Ryukyu. Isl. Okinawa, Nakizin-magiri, Rappayama (Mar. 1887, Y. Tashiro, TI). Isl. Amami-ohshima, Yuwandake (Y. Ikuma, Sept. 3, 1910, KYO; Z. Tashiro, Mar. 1924, Type of *E. tumidulum*, KYO, TI). (東京大学理学部附属植物園)